

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 271 号	氏名	成毛 有紀
学位審査委員	主査 山下 俊一 副査 田口 尚 副査 佐藤 伸一		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、原爆被爆者のゲノム不安定性と発がん亢進の関係を皮膚基底細胞癌を有する皮膚組織を対象として、53BP1 細胞核内フォーカスを分子マーカーとして病理統計学的に解析する仮説検証型の研究であり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 長崎県腫瘍組織登録委員会の病理データと原爆被爆者データベースのリンケージ調査による被爆者皮膚基底細胞癌 146 例を多変量Cox回帰分析し、さらに分子病理的所見をその発現パターンから Cochran-Armitage 傾向検定、臨床指標を多変量ロジスティック回帰分析し、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、被爆距離と皮膚基底細胞癌の有意な相関を見出し、さらに被覆部皮膚組織における遺伝子不安定性も近距離被爆者で有意に高い傾向を証明した。被爆者ゲノムには微小な構造変化による遺伝子不安定性が長期存続し、生涯にわたる発がん亢進の背景因子の存在を提唱し、これら一連の解析と考察は放射線誘発がん研究への貢献大であり、今後の分子病理学の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は晩発性放射線障害の分子病理学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			